



下野市立石橋小学校

校長室だより

令和8年9月2日発行 文責 川島 啓

教育目標

「ふるさとを愛し
未来を拓く 石小っ子」

目指す児童像

- ◇自ら考える子
- ◇豊かな心をもつ子
- ◇健康でたくましい子
- ◎元気なあいさつのできる子



笑顔の再会と、実りの秋へ

長かった夏休みが明け、昨日からいよいよ学校に子どもたちの輝く笑顔と元気な笑い声が帰ってきました。静まり返っていた校舎に再び活気が戻り、教職員一同、大きな喜びと愛おしさを感じております。

この夏、子どもたちはどのような経験をしたのでしょうか。一人ひとりがそれぞれの場所で向き合った「夏の挑戦」について、思い出話を聞くことを今からとても楽しみにしています。

1日から前期後半がスタートします。秋は行事も多く、子どもたちがさらに大きく成長する大切な時期です。体調管理に留意しながら、一日一日を充実させてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今期も変わらぬご理解と温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

4年 水道局見学 目を輝かせた「百聞は一見にしかず」の学び！

6月30日(火)、4年生全クラスが市バスを利用し、下野市水道局の見学を行いました。教室を飛び出した子どもたちは、社会科の教科書で見た光景を前に「おおー！」と声を上げ、終始目を輝かせていました。

自分たちの生活を支える安心・安全な水道の舞台裏を五感で学ぶ姿は、まさに「百聞は一見にしかず」。蛇口の向こう側にある人々の努力に触れ、毎日お水が使える幸せを改めて噛み締める、実り多き一日となりました。



3年 かんぴょう皮むき体験 広がる学習の輪～総合的な学習の時間～

3年生の総合の時間は「下野市を紹介しよう」をテーマに、ふるさとの特産品である干瓢に着目し、課題解決を図っています。7月9日(木)には、下野市文化財課の方から干瓢について学び、実際に干瓢の皮むき体験をしました。長い干瓢の皮ができると、満面の笑みで語りかけたり、見せ合ったり、おいしいふくべのお土産に微笑む姿は、本来の子どもたちのよさがもっとも現れていて、学ぶことの大切を教えてくださいました。

石橋小学校では、総合的な学習の時間を通じて、「児童が自ら主体的に学ぶ学習」と「友だちと協働的に問題を解決する力」を育てるため、特に「体験的な活動」、実際にふれて、見て、やってみることを大切にしています。



社会を明るくする運動 啓発活動 地域に育まれる子どもたち

6月29日(月)に保護司会の山室様、布袋田様、そして更生保護女性会の皆様が校長室を訪れてくださいました。

今回は、未来を担う子どもたちが犯罪や非行のない明るい社会について考える「令和8年度 社会を明るくする運動 作文コンテスト」の募集案内に来てくださいました。学校でもぜひ積極的に取り組んでまいりたいと思います。

また、更生保護女性会の皆様からは、今年も1年生に向けて心のこもった贈り物をいただきました。「親子で一緒に楽しくお洗濯をして、会話のきっかけにしたい」という願いが込められた固形石鹸「ブルースティック」です。

今回は皆様から1年生へ直接手渡していただき、受け取った子どもたちも大喜びでした。地域の方々の温かい眼差しに見守られている幸せを実感する、大変心温まるひとときとなりました。お忙しい中ご来校いただいた皆様、本当にありがとうございました。



石橋公民館家庭教育講座

7月31日(金)に石橋公民館家庭教育講座が石橋小学校で行われました。来年度入学生と保護者を対象に、学校の概要と1年生の生活について学校から説明させていただきました。また、石小学童についての説明があり、その後家庭教育支援チーム「ひばり」の方々によるワークショップ「小1プロブレムとは」が実施されました。来年度、入学される方々の不安が少しでも取り除かれたらうれしいです。関係各位に心よりお礼申し上げます。



石橋中学校区小中一貫教育 情報教育～タイピング力育成～

本年度の石橋中学校区小中一貫教育の1つとして、学習指導部会の取組の1つであるタイピング力育成が各学校で実践されています。本校でも情報教育主任を中心に、具体的な子どもたちの到達目標を定め、そのために今の段階でどこまでできるようにするのか、について日々研究と実践を繰り返しています。各教室では、タブレットにキーボードを接続し、一生懸命に入力作業を行う子どもたちの様子が窺えます。集中して、楽しそうに活動する姿が印象的です。



タブレット
が新しくな
りました。